

約100名が参加

< 第1回 成果文書 >

インフラを賢く使うまちづくりのための東環利活用会議活動指針(平成28年7月)

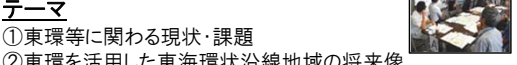
- 1 東海環状自動車道の利活用に関する取り組み
広域道路ネットワークの利活用状況や東海環状自動車道西回りが地域経済に与える効果を把握し、情報共有を図ることで、的確なまちづくり計画策定や更なる民間投資に繋がります。
- 2 インフラ整備のストック効果に関する取り組み
アクセス道路や地域開発計画に関して情報共有を図り、更なる民間投資の需要を喚起するとともに、インフラ整備を見据えたストック効果を継続して把握し、同種の新規事業に期待される効果の予測に繋がります。
- 3 各種広報啓発活動等の実施
インフラ整備のストック効果の情報提供活動を推進し、新たな地域開発に対する理解の醸成や、まちづくりに関する取り組みに対して容易に情報が検索できる仕組みを整備し、来訪しやすい環境を整えることで地域の活性化に繋がります。
- 4 工業、商業、農業、観光等の幅広い「生の声」の把握
企業等の「生の声」を把握し、適切に対応することで企業等の生産性向上に繋がるとともに、関係機関が連携・協力し、まちづくりの課題解決に取り組み、より良い地域を目指します。

< ワークショップの結果報告 >

目的
地域の現状や目指すべき姿を東環沿線地域で共有し、東環の整備促進に向けた機運を高める東環を利活用することによって地域にもたらされるストック効果を最大化する取り組みの方向性をとりまとめる。

テーマ
①東環等に関わる現状・課題
②東環を活用した東海環状沿線地域の将来像

開催日・場所・参加者数
■大野神戸IC地区:R1.8.22、大野町役場大会議室、23名
■山県IC地区:R1.8.29、山県市役所大会議室、9名
■東回り区間:R1.8.27、美濃加茂市生涯学習センター、15名
■北勢地区:R1.10.7、三重県四日市庁舎大会議室、17名



成果1. 地域の課題

【共通課題】

- 農業振興地域の土地利用
- 企業誘致
- 雇用確保
- 地場産産とのバランス
- 観光客の呼び込み
- 観光資源の開発・活用
- 観光客受け入れ体制の整備
- 人口減少・流出
- まちづくり等

【地域個別課題】

地域	産業	観光	まちづくり等
大野神戸IC地区	農業の衰退	観光ルートの整備	空き家対策
山県IC地区	観光のピーク	観光ルートの整備	観光客の呼び込み
東回り区間	企業立地のニーズ	観光資源の活用	観光客受け入れ体制の整備
北勢地区	農業の活性化	観光ルートの整備	観光客受け入れ体制の整備

成果2. 地域が連携して取り組むテーマ

- ①東環沿線地域への企業誘致
 - ・ I C 周辺工業団地整備推進
 - ・ 企業誘致を加速して P R ・ 地元企業紹介の高校生など若手のアプローチ
 - ・ 企業誘致による雇用・人口の増加/さらなる企業誘致
 - ・ 工業用水の確保
 - ・ 関西への販路拡大
 - ・ 物流効果を高める岐阜方面との広域連携
- ②東環沿線地域が一体となった観光客の獲得
 - ・ ご当地グルメの作成・ P R
 - ・ 東環 I C を拠点とした福井への街道の P R
 - ・ 行政界を超えた観光PR等の連携
 - ・ 東環による北勢地域のアクセス向上 P R
 - ・ イベントカレンダーの作成
 - ・ 東環 I C を拠点とした観光ルートの確立/広域観光ルートPR
 - ・ 国産品の景観を活用した観光資源の開発
 - ・ 類似観光施設スタンプラリーでの連携
 - ・ 行政と大町ドラマ「願がくる」など民間の取り組みとのコラボレーション
 - ・ イベント機会をなくして広域テーマを掲げる
 - ・ 体験型アクティビティを活かす
 - ・ 岐阜羽島駅を拠点とした沿線への観光客の展開
 - ・ 沿線全体で呼び込みマップで各観光地に展開
 - ・ 周遊のためのマップ・冊子づくり/北勢地域での高速を利用した観光マップの作成
 - ・ I C にそれぞれイベントのある施設
 - ・ S A の存在と S A を活用した特産物の紹介
 - ・ 地域間交流のためのオープンデータの推進
 - ・ ネットの活用による更なる観光の活性化
 - ・ 高速 I C の運行による観光客の増加
 - ・ I C にそれぞれイベントのある施設
 - ・ 高速道路と並行する長い自転車道整備
 - ・ インバウンドに向けた積極的なまちづくり
 - ・ 四日市港のクルーズ船からの誘客
 - ・ I C の増加による誘客
 - ・ 関西地方からの外国人誘客
 - ・ 関西向けの共同観光 P R / 関西スキー客の取り込み
- ③東環沿線地域が連携した宿泊者の取り込み
 - ・ スキー客のキャンプ場等への宿泊者の取り込み
 - ・ 宿泊と日帰りの組み合わせた相互連携 P R
 - ・ 宿泊予約プラットフォームの構築
 - ・ 古民家を改修して宿泊施設に転用
- ④先進技術等を活用した沿線地域内移動の円滑化
 - ・ 主要な場所を通る(バス)ルートの作成
 - ・ 市町村を超えた公共交通(バス)の運行
 - ・ 東海環状道路と公共交通の連携
 - ・ 自転車レンタルの整備/観光地におけるレンタルサイクルの充実
 - ・ ラストワンマイルの強化と他交通との連携
 - ・ 主要なところに行ける(バス)ルートの開発
 - ・ 高速道路の自動運転化
 - ・ 料金体系の充実
 - ・ I C 間バス、 I C と主要エリアとの交通促進
 - ・ 電車のダイヤ見直し
 - ・ 自動運転・新技術対応レーン整備
 - ・ S A ・ P A に集配所・物流センターを設置
 - ・ 貨客混載
 - ・ パスターミナルと名古屋直行便の開設
 - ・ 高速利便性の向上
 - ・ 自動運転技術の活用による渋滞の削減
 - ・ E V スタンドの充実
 - ・ 周辺企業や市民へのスマート I C 利活用の P R
 - ・ リニア停車駅までの広域的なバス運用
 - ・ 迂回路マップの作成
- ⑤東環沿線地域が連携したまちづくり
 - ・ I C 付近に目玉スポットを形成
 - ・ 東環を利用すると運動時間がよくなる P R
 - ・ 名古屋から一帯に広がる農村地域として発信
 - ・ 目玉となる場所をつなぐイベントづくり
 - ・ 様々な年齢層が楽しめるまちづくり
 - ・ 医療・教育環境の充実
 - ・ 地域の P R / 他地域や国外への利便性向上の P R
 - ・ 移住・定住の促進
 - ・ 関西との連携
 - ・ 雇用の確保
 - ・ I C 周辺での土地直営事業の活用
- ⑥連携を促進する道路整備
 - ・ 大野神戸 I C を起点とした道路整備
 - ・ 大野神戸 I C から地域 I C へのアクセス改善
 - ・ I C アクセス時間の短縮
 - ・ I C の増設
 - ・ 高速道路ネットワークの拡充
 - ・ バイパス等、県内主要道路の整備

【第4回東海環状西回り利活用促進会議 参加機関】

代表理事 : 岐阜県、三重県
 理事 : (19市20町)岐阜市、大垣市、多治見市、関市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、八百津町、御嵩町、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、(7経済団体)岐阜商工会議所、大垣商工会議所、各務原商工会議所、四日市商工会議所、桑名商工会議所、鈴鹿商工会議所、朝明商工会
 オブザーバー: 国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社
 協力機関 : 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)



第4回 東海環状西回り利活用促進会議

< 議事次第 >

- 開会挨拶 岐阜県 県土整備部長
- 開催地挨拶 岐阜市副市長
- 話題提供 「東海環状自動車道全線開通による全国への経済インパクト」 宮下 光宏 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員
- ワークショップの結果報告
 - 加納 秀男 大野町産業建設部長
 - 大西 一也 山県市建設課長
 - 西田 恒夫 美濃加茂市建設水道部長
 - 伊藤 徳孝 東員町建設課長
- 意見発表
 - 西回りへの期待 土岐市、可児市
 - まちづくりについて 神戸町、本巣市、御嵩町、安八町
 - 経済界の声 大垣商工会議所、四日市商工会議所
 - 岐阜県と三重県が繋がること 海津市、いなべ市
- 閉会挨拶 三重県 県土整備部長

◇日時 : 令和元年11月8日(金) 13:30~15:00
 ◇場所 : 長良川国際会議場

第4回 東海環状西回り利活用促進会議 開催概要

<開会挨拶> 岐阜県県土整備部長 宗宮 裕雄 氏



- ◇本会議は、東海環状自動車道のストック効果の最大化を図り、地域の持続的なまちづくりを支援することを目的に毎年開催しています。
- ◇民間投資の需要拡大や地域の魅力向上、賑わいの創出に繋げたいと考えています。

<開催地挨拶> 岐阜市副市長 檜橋 康英 氏



- ◇道路開通は、渋滞緩和や安全対策につながることに加え、ストック効果もあり、内容を発信することで選ばれる道路になります。
- ◇1日でも早い全線開通の実現に期待が大きいところでございます。開通効果をしっかりと地域の発展に繋げていくということが我々に課された使命だと思っています。

<閉会挨拶> 三重県県土整備部長 渡辺 克己 氏



- ◇今回、ワークショップにおける結果発表、そして意見交換におきまして、皆様方の東海環状への熱い思いを実感したところです。皆様方の思いを、あらゆる機会を通して国へ伝え、西回り区間が1日でも早く全線開通されるよう、活動して参ります。

<話題提供> 『東海環状自動車道全線開通による全国への経済インパクト』

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員 宮下 光宏 氏



- ◇東回り区間のストック効果として、新たな企業立地や観光入込客数の増加などが確認されています。これを示すデータを用いて、東回り区間の効果として経済インパクトを推計した結果、**全国で50年間累計で27兆円のインパクト**があり、中京圏では14.3兆円となりました。
- ◇経済インパクトである**生産誘発効果の内訳をみると、多様な産業に波及することもわかりました**。また、インバウンドやニア開業によって、この地域には交流人口がますます増加します。この交流人口を獲得するためには、中京圏が一体となって、効果を出す取り組みというのが大事になってきます。
- ◇中京圏が一体となって取り組めば、今回示した全線開通のインパクト27兆円を更に上回る事が可能です。

<ワークショップの結果報告>

【大野神戸IC地区】 岐阜県大野町 産業建設部長 加納 秀男 氏



- ◇開通によるアクセス性の向上により観光客の増加と活性化に向けた取り組みが必要と考えています。当地区は、いつでも何かが楽しめる地域であるという特性から、**沿線市町が連携して広域観光ルートの形成を推進することが重要**だと考えています。

【山県IC地区】 岐阜県山県市 建設課長 大西 一也 氏



- ◇今後は、大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に地域が連携して取り組んでいく必要があると認識しています。取組アイデアとして、**関西向けの共同PRや関西スキー客の取り組み**といった関西方面からの誘客を意識したものや、**四日市港のクルーズ船からの誘客**といったインバウンド誘客に関する事などが挙げられました。

【東回り地区】 岐阜県美濃加茂市 建設水道部長 西田 恒夫 氏



- ◇目指す姿として、各地域がその特徴を生かしながら、単独で目指す姿と合わせて、観光、医療、教育、福祉などの様々な分野が密接に組み合わさりながら、広域連携を進めていくと整理しました。当地域の将来の姿を作っていくためには、**早期全線開通と併せて東回りの4車線化を早期実現することが重要**であると考えています。

【北勢地区】 三重県東員町 建設課長 伊藤 徳孝 氏



- ◇物流の自動化といった新技術を活用し、効率化が実現されている地域を目指すところに共通認識があった点が特徴的です。今年3月の新名神高速道路の開通もあり、**高速料金の見直しや迂回路マップの作成**といった道路の利活用や、**物流効果を高める岐阜方面との広域連携、東環による北陸地域へのアクセス向上PR**といった企業や観光客の取り込みについてのアイデアが挙げられました。

<意見交換>

岐阜県土岐市 建設水道部長 菅内 厚視 氏

- ◇東環開通以来、2018年度末に企業誘致24社、雇用者数3700人の増加があり、2018年度の観光入込客数は930万人とストック効果が出ています。**更に西回りの開通によって、関西方面からの観光客の取り込みルートとなることを期待**します。

岐阜県可児市 建設部長 丹羽 克爾 氏

- ◇観光面では、来年1月からNHK大河ドラマ「麒麟がくる」に合わせて、花フェスタ記念公園内にドラマ館がオープンします。**「麒麟がくる」に関連する場所の多くが東環の沿線に集中しており、観光交流人口の増加に期待**しています。

岐阜県神戸町 産業建設部長 石原 博之 氏

- ◇農地を転用して都市的な土地利用を図ることの難しさ、工業用地を確保しても企業誘致に関するノウハウが少なく、**優良な企業を誘致するためにどうしたら良いのかという課題**があります。

岐阜県本巣市 産業建設部長 原 誠 氏

- ◇西回り開通向け、**(仮称)本巣PA隣接の公園の計画**、企業の多様なニーズに対応する**オーダーメイド型の企業誘致推進、二次アクセス道路の整備**を行っています。

岐阜県御嵩町 建設部長 亀井 孝年 氏

- ◇可児御嵩ICから車で5分程度の場所に約40ヘクタールの工業団地があり、2005年の東回り開通に伴い、**企業進出が促進され製造品出荷額が大幅に増加**しました。

岐阜県安八町 建設課建設調整監兼産業振興課長 岡田 立 氏

- ◇2018年3月に安ハスマートICが開通し、2007年から現在までに**スマートICの開通を見越した新規企業進出や新規雇用が創出**されました。

大垣商工会議所 専務理事 三輪 正直 氏(代理: 中小企業経営指導相談所相談課長兼振興課長 高井 昌英 氏)

- ◇西回り沿線に「道の駅」パレットピアおおの、(株)サラダコスモが進出しています。大野町のテクノパーク大野や海津市の駒野工業団地等において、**企業誘致に向けた取り組みが着実に進められています**。

四日市商工会議所 専務理事 須藤 康夫 氏

- ◇西回り開通により新たな物流のルートが整備され、**四日市港の利用促進や沿線地域の事業者の物流コストの削減に大きく寄与**すると考えています。また、様々な観光資源へのアクセス性が良くなるため、**クルーズ船誘致のPR材料とした**と思っています。

岐阜県海津市 建設水道部長 石原 敏彦 氏

- ◇西美濃広域観光推進協議会にて、広域連携し西美濃観光ネットワーク化を図っているところであり、**今後開通に向け、さらに三重県との連携強化についても取り組んでいきたい**と考えています。

三重県いなべ市 建設部長 鈴木 信 氏

- ◇西回り開通により岐阜県と三重県が繋がれば、県同士や隣接する市同士の距離が縮まり、多方面での交流や様々な連携事業が始まることで、大きな波及効果生まれ、**両県の産業や観光地が大きく活性化**すると考えます。

国土交通省中部地方整備局 道路部長 池口 正晃 氏

- ◇東回り区間での成功事例も参考にしつつ、**西回り開通に向けて、具体的な取り組み手法について引き続き検討いただきたい**と思います。

中日本高速道路(株) 名古屋支社建設事業部長 忽那 幸浩 氏

- ◇地域連携に関するアイデアについては、関連事業として、すでに、皆様方と一緒に既供用区間で実施しているものもいくつかございます。**地域連携について我々も参画をしていきたい**と思っています。

<意見交換会コーディネーター>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員 南田 あゆみ 氏



- ◇すでに東回りではストック効果が発現している話や全線開通による広域での活性化は間違いないという力強い言葉をいただきました。一方で、周辺道路の改良や農業振興地域への対応といった課題も確認できました。また、**企業サイドからは西回りへの期待が高いこと、開通前後のPRの大切さ、企業のBCPの観点で4車線化等が重要と感じました**。
- ◇地域が一体となって「効果を出す」のだということと熱量を上げていくことに期待します。